

巻 頭 の こ と ば

令和2年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

本市におきましては、第4次総合計画と次期地方創生総合戦略を一体的に策定した「米子市まちづくりビジョン」をスタートさせ、本市の新たな将来像である「住んで楽しいまちよなご」の具体化に取り組みました。

周辺の交通渋滞緩和が期待され完成が待ち望まれた市道安倍三柳線1工区の供用を開始したほか、令和5年の供用開始に向け米子駅南北自由通路の本体工事を開始するとともに、駅北広場の基本計画の策定に着手いたしました。公共交通の利便性向上に資する対策を推進するなど、引き続き交通基盤の充実と活用を図り、地域活性化につなげてまいります。

少子高齢化や人口減少の進展に加え、予想以上のスピードで変化する社会経済状況の中で起こる様々な課題への対応として、健康寿命延伸のための介護予防やフレイル対策をはじめ、GIGAスクール構想やスマート自治体への取組のほか、第2次米子市環境基本計画を策定するなど、持続可能な社会への取組を進めてまいりました。

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活や経済活動は様々な面で制約が生じ、地域社会に多大な影響が及んだ1年となりました。本市では、感染対策と併せて市民生活や社会経済活動に関する総合的な対策を推進するため、米子市感染症総合対策会議を立ち上げ、感染予防のための備蓄マスクの提供、市民の家計や地元の各種事業者に対する経済的支援策など、感染対策と社会経済活動との両立、及びアフターコロナを見据えた対策を講じました。現在、感染症の収束に向けたワクチン接種を迅速かつ円滑に進められるよう、最重要事項として全庁をあげて取り組んでいるところであり、平穏な市民生活を一日も早く取り戻すことができるよう引き続き努力してまいります。

コロナ禍により地方都市の暮らしが見直されている今、この豊かな自然や暮らしやすさといった米子のすばらしさをいかしたまちづくりを積極的に進めていくことが重要です。今後も、鳥取県西部圏域はもとより、中海・宍道湖・大山圏域の中心的な役割を担う都市として、さらなる連携により一体感のある発展をめざしていきたいと考えております。

市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆さまのご意見とご協力をいただきながら、引き続き、市政運営にまい進する所存でございますので、どうか一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月

米子市長 伊 木 隆 司